

DIVER'S

No. 7

令和8年(2026年)
5月11日(月)発行

—学校図書館で本と出会い、未知なる世界に飛び込もう!—



May 2026 - 特集

学校図書館、 始まりの景色



Pick up!

学校図書館利用報告 (令和7年度)



開館日数
(中学校5校平均)
約200日/各校

延べ利用者数
(中学校5校合計)
33,315人

年間貸出
(中学校5校合計)
8,654冊

授業利用
(中学校5校合計)
490回

蔵書点検(中学校5校)
年1回実施

学校図書館の環境整備
銀座中学校 図書館移転
晴海中学校 レイアウト変更
日本橋中学校 図書館引越し

令和7年度は、学校図書館の毎日開館を目指し、各校200日前後の開館を実施しました。昼休みや放課後には読書や居場所として、授業ではさまざまな教科で活用されました。

貸出は、生徒・教職員の利用に加え、調べ学習や学級文庫など幅広く活用されました。

また、全校で蔵書点検を行い、本のデータ整備や古い資料・傷みのある本の除籍を進めるとともに、必要な資料を購入し、蔵書の充実を図りました。

さらに、学校の移転や館内レイアウト変更に伴い、本の配架を見直すなど、使いやすい学校図書館づくりに努めました。



学校図書館支援センターもおかげさまで開設から1年が経過しました。
改めて、私たちの業務や取り組み内容についてご紹介します。

中央区学校図書館支援センターの主な業務の紹介

豊富な図書資源を有する学校図書館において、子どもたちの読書活動を推進し読書好きの子どもを増やすことで、確かな学力や豊かな人間性のほか、思考力、判断力、表現力等を育めるよう、学校図書館に司書を配置します。

- 1 学校図書館に司書を配置します。
(令和8年度は中学校5校に配置)
- 2 学校図書館の運営環境を整備します。
- 3 学校図書館間、学校図書館と区立図書館の連携を支援します。
- 4 学校図書館関係者への研修会や連絡会のサポートをします。
- 5 機関紙を発行します。
- 6 読書活動推進に関する調査研究をします。

学校図書館支援センターの取組み — 3つの目標に沿って、様々な支援を行います。

01. 読書量UP

- ▶ 読書イベントの実施(味見読書、読書会、覆面文庫、謎解き図書館など)
- ▶ ビブリオバトルの支援
- ▶ 図書館だよりの発行
- ▶ 図書館オリエンテーションの実施
- ▶ バリアフリー図書、リーディングトラッカー、コミュニケーションボードの導入
- ▶ GoogleClassroomでの情報発信

02. 理解力を高める

- ▶ 本と興味を繋げる工夫(展示・広報)
- ▶ 知識の本の充実
- ▶ 調べ学習サポート
- ▶ Sagasokka!の利用サポート
- ▶ 図書資料以外(パンフレット等)の資料の整備活用
- ▶ 新聞の利活用

03. 授業での活用

- ▶ 年間学校図書館活用計画の作成
- ▶ 教科ごとのアプローチ(展示・表示)
- ▶ 教職員向け図書館だよりの発行

配置司書の日(ある日の例) — 開館から閉館まで、毎日6時間、図書館を支えます。

Step1 開館準備

返却ポストの本を回収、書架の乱れを直します。



Step2 先生と打ち合わせ

授業の内容を聞き取り、必要な本を用意します。学校図書館に本がない場合は、区立図書館から借り受ける手続きをします。



Step3 図書館だよりの作成

毎月、生徒向けの図書館だよりを発行します。おすすめ本や新しく届いた本の紹介、ひとことコラムなど、図書館からの情報を発信します。また、教職員向けのおたよりも作成します。



Step4 昼休み開館

調べものの相談、本を探す手伝い、図書委員の補助などを行います。



Step8 閉館準備

机・椅子を整え、館内をチェックし、翌日に備えます。



Step7 放課後開館

貸出・返却のほか、読みたい本の相談を受けたり、図書館に入れて欲しい本のリクエストを聞いたりします。



Step6 本の修理

ページが取れたり破れたりした本は、専用のテープやのりを使って修理をします。みんなが気持ちよく使えるように、本の汚れも拭き取ります。



Step5 展示コーナーの作成

季節や行事などを考慮し、本の展示をします。テーマに合わせた表示や装飾も作成します。



[お問い合わせ先]
中央区学校図書館支援センター (中央区立教育センター内)
〒104-0044 東京都中央区明石町 12-1
TEL.03-3545-9201

